

Y19b 日本惑星協会の再発足について

吉川真 (JAXA), 井本昭, 高岸敏雄 (日本惑星協会)

カール・セーガン氏らによって1980年に惑星協会というものが設立されたが、その活動を日本でも行おうと1999年に日本惑星協会が設立された。しかし、2011年に解散され、活動は停止していた。本年、新たなメンバーが中心となって、この活動を再開する方向で議論が進められている。本講演では、新しい日本惑星協会の活動内容を中心に紹介する。

新たに再開する日本惑星協会の活動の主目的は、現在行われてる太陽系探査について情報を分かりやすく発信することで、なるべく多くの人に太陽系探査というものに興味をもってもらうことである。日本での太陽系天体探査はもちろんであるが、米国、欧州そしてその他の国による探査について情報発信を行う。そのために、米国惑星協会をはじめとしてその他の組織と連携したり協力したりしながら、日本独自の活動を構築していく。

さらに、単に情報発信をするだけでなく、多くの人とのコミュニケーションができるような仕組みも構築していく予定である。講演会など直接対面して議論を行う機会に加えて、ネットワークを利用したコミュニケーションの場を作ることで、専門の研究者に限らず広く惑星科学や探査技術に関する議論ができる場を構築していきたいと考えている。このことを通して、アウトリーチだけでなく、より積極的に教育にも関与したいと考えている。

以上のように、日本惑星協会では太陽系天体というものを中心において科学や技術についての理解を深めていくことを行うが、天文学や宇宙、より広く科学や技術一般、さらには人類や文明という視点で活動を行っていきたい。多くの人にこの活動に参加していただければ幸いである。